

## サツマゴキブリの淡路島からの初記録

尾崎一天・澤畠拓夫

近畿大学大学院農学研究科環境管理学専攻

First record of *Opisthopteria orientalis* from Awaji Island, Hyogo Prefecture, Japan.

Kazutaka OSAKI, Takuo SAWAHATA

Major in Environmental Management, Graduate School of Agriculture, Kindai University, 3327-204  
Nakamachi, Nara 631-8505, Japan

### Synopsis

*Opisthopteria orientalis* (Burmeister, 1838) was found in Minamiawaji City, Hyogo Prefecture, Japan, in 2020. This is the first record of this species on Awaji Island. Most of the past records from Honshu are reported from coastal areas as in this report. This species, which had become established in coastal areas, was unintentionally introduced inland. After that, cases of expanded distribution have been reported. Therefore, we need to closely monitor the expansion of the distribution of this species on Awaji Island.

Keywords: Blattodea, cockroach, distribution, Minamiawaji City, coast

### 1. はじめに

サツマゴキブリ *Opisthopteria orientalis* (Burmeister, 1838) はオオゴキブリ科マダラゴキブリ亜科 (Blaberidae : Epilamprinae) に分類される大型のゴキブリで<sup>1)2)</sup>、前胸背の前縁は半環状に黄色、胸部・腹部各節は赤褐色に縁どられるという特徴的な形態を持つ<sup>3)</sup>。本種の分布は、朝比奈 (1991) によると、四国南部・九州南部・種子島・奄美諸島・沖縄・八重山諸島とされている<sup>3)</sup>。しかし、近年、人為的な影響による本種の分布の拡

大が懸念されており<sup>4)</sup>、実際、本州の様々な地域で記録されている<sup>5)</sup>。また、近畿地方において本種の記録がある都道府県は、三重県・大阪府・兵庫県・和歌山県にわたり<sup>5)</sup><sup>6)</sup>、一部の地域では定着が示唆されている<sup>7)</sup><sup>8)</sup><sup>9)</sup>。これらのことから、本種は今後さらに分布を広げていく可能性が高いため、分布情報の蓄積は欠かせない。

本報では、これまで本種の分布が確認されていなかった淡路島 (兵庫県) における本種の記録について報告する。

## 2. 報告

【標本データ】1♀、34° 12' 36" N 134° 43' 36" E、兵庫県南あわじ市阿万西町阿万海岸海水浴場（図1）、14 VIII 2020、尾崎一天採集・保管（図2）。

【備考】海水浴場付近の木造人工物（ベンチ）にて採集された（図3）。木造人工物の隙間にはさらに複数の個体が見られ（図4）、周辺は落葉が堆積する環境であった（図5）。



図1 サツマゴキブリの確認地点  
（地理院地図を基に作成）



図2 兵庫県南あわじ市（淡路島）産  
サツマゴキブリ♀（34.5 mm）



図3 木造人工物上を歩く淡路島産サツマゴキブリ



図4 木造人工物の隙間に見られた複数個体の淡路島産サツマゴキブリ（赤矢印）



図5 淡路島産サツマゴキブリの生息環境

## 3. 考察

本州におけるサツマゴキブリの確認事例のほとんどは、沿岸部からのものであり<sup>5)</sup>

7) 8) 9) 10)、本報告もこれらと同様、沿岸部から確認された。

本種の侵入経路については、海岸への漂着<sup>11)</sup>、農産物、花卉、観葉植物に随伴<sup>4) 12)</sup><sup>13)</sup>、また植栽に伴う侵入<sup>10) 14)</sup>など様々知られている。本報告地点である阿万海岸海水浴場では、敷地内にソテツ等の植栽があることから、これらの植栽を通じて侵入した可能性が示唆される。

また、沿岸部に定着したサツマゴキブリが内陸部へ非意図的に持ち込まれ、その後分布を拡大した事例も散見されることから<sup>15)</sup>、淡路島においても、沿岸部から島全域に分布が拡大していく可能性は否定できない。

淡路島は、今後、農作物等を介して本種の他地域へのさらなる分布拡大の拠点となる可能性があることから、注意深くモニタリングしていく必要がある。

#### 4. 謝 辞

本論文を執筆するにあたり、調査に同行頂いた近畿大学大学院農学研究科環境管理学専攻の芳谷昂紀氏、同農学部環境管理学科卒業生の園田梨桜氏、西田梓氏、濱崎康太氏、藤本直子氏、そして、本報についての的確なご助言を賜った同専攻の葛西弘氏、ジン・タナンゴナン博士に、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

#### 5. 引用文献

1. 町田龍一郎 (2016) 日本産直翅類標準図鑑. 学研プラス, 東京.
2. 柳澤静磨 (2022) ゴキブリハンドブック. 文一総合出版, 東京.
3. 朝比奈正二郎 (1991) 日本産ゴキブリ類. 中山書店, 東京.
4. 富岡康浩・福島尚紀・谷川 力 (1991) 横浜市の食品加工施設で捕獲されたサツマゴキブリとその侵入経路. 都市有害生物管理 6 (1) : 29-31.
5. 小松謙之・佐藤龍樹 (2021) 東京都で捕獲されたサツマゴキブリとわが国の分布. 都市有害生物管理 11 (1) : 11-15.
6. 林 幸希・柳澤静磨・大島千幸・寺井純汰・樽 宗一朗・佐伯智哉・青柳 克 (2022) 宮古諸島におけるゴキブリ目の分布記録. *Fauna Ryukyuan* 65 : 61-73.
7. 瀬口翔太・松谷実璃・澤畠拓夫 (2019) 大阪港におけるサツマゴキブリ (外来種) の定着状況. 近畿大学農学部紀要 52 : 53-57.
8. 大塩拓美 (2016) 兵庫県におけるサツマゴキブリの記録と堅果食. きべりはむし 38 (2) : 4-5.
9. 久保田 信 (2011) 夏から初冬に瀬戸臨海実験所構内に大量出現した熱帯性のサツマゴキブリ (ゴキブリ目, ゴキブリ上科). 瀬戸臨海実験所年報 24 : 53-56.
10. 辻 英明・木藤 慎 (2002) 静岡市南岸のサツマゴキブリについて. 環動昆 13 (3) : 139-141.
11. 久保田 信 (2017) 和歌山県白浜町瀬戸漁港に漂着したサツマゴキブリ (ゴキブリ目, ゴキブリ上科). *KINOKUNI* 92 : 21.
12. 服部蛙作 (1994) 北海道の生活害虫. 家屋害虫 16 (1) : 1-6.
13. 長谷川道明・片山卓也 (2010) 蒲郡市

サツマゴキブリの淡路島からの初記録  
尾崎・澤島

で採集されたサツマゴキブリ. 豊崎市  
自然史博物館研報 20 : 5-6.

14. 富岡康浩・柴山 淳 (1998) 日本国内  
におけるゴキブリ類 12 種の分布記  
録. 家屋害虫 20 (1) : 10-16.
15. 辻 雄介 (2023) 梶ヶ森 (高知県) に  
おけるサツマゴキブリの採集記録. ニ  
ッチェ・ライフ 8 : 65-66.